

令和5年度 よつば学府中学部 磐田市立城山中学校 学校評価書

A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力 D:大いに努力

重点	目標・取組	評価指標	自己評価	○考察 ※改善策	学校関係者評価委員から
知育	目標をもち、自己・他者・対象と対話し、学びを深める子供【90%】	◎授業で自分の意見や考えを筋道を立てて発表していると考える生徒 (R3:56.2%→R4:48.4% → R5:51%) ◎他の生徒や先生とかかわり合いをもち、学びを深めていると考える生徒 (R3:82.3%→R4:79.0% → R5:84%) ◎タブレットを使って、自分の考えをまとめたり、分かりやすく相手に伝えることができると答えた生徒 (R3:81.0% → R4:82.2% → R5:83%) ○単元構想や学習課題・発問を工夫した指導ができたと答えた教職員 (R3:87.5%→R4:89.5% → R5:88%)	B	○「主体的な学びを促す授業づくり」をテーマに、「課題に対しての見通しをもたせ方」や「学ぶ価値を実感できる振り返り」に焦点をあて、課題設定や生徒間の交流、共有の効果的な進め方について取り組んできた。その結果、自分の言葉で考えをまとめ、級友と意見交換を行う学習活動が多くなり、スキルアップにつながったと考えられる。 ※タブレットを活用することで、書くことや対面で発言することが苦手な生徒も意見を伝えやすくなったが、深く考え、検討し、納得解を導く交流活動をするには、生徒が自信をもって発言できるよう、さらに研修をすすめていく必要がある。 ※新規項目「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」については、73%の肯定評価を得ている。総合的な学習においても、生徒が自ら課題を設定する力をさらに育成していきたいと考えている。	○授業参観を通して、どのクラスでも生徒がタブレットを使いこなし自分の考えをグループで共有したり、学習のまとめたりする様子が見られた。半面、従来のように書いて覚えたり、繰り返しおこなって身についたりする基礎的・基本的な内容もあるのではないかと考える。そのため、研修を継続しながら、より効果的な学習方法を教科で実践してほしい。 ○今後、AIが教育現場やはいっていることも考えられる。情報スキルに長けている生徒もおり、教員や保護者や私たちも新しい情報を取り入れていかないといけないと思う。
徳育	自他を尊重する心をもち、正しく判断し、よりよい自分を発揮する子供【90%】	◎ルールを守り、協力する雰囲気がある学校(学級)であると考える生徒 (R3:82.1%→R4:80.0% → R5:81%) ◎生徒による活動に協力していると考えた生徒 (R4:87.0% → R5:87%) ○温かな心をもち、お互いを尊重する生徒を育成できたと考える教師 (R3:92.5%→R4:89.4%→ R5:92%)	A	○生徒が中心となって企画・運営するプロジェクト活動によって、体育大会やよつば祭り新入生説明を実施したことで、より多くの生徒が様々な活動を自分たちの手で行うことに前向きであった。(「プロジェクト活動によって行事がよりよいものになりましたか」肯定評価89%)さらに、3学期の指導目標を「自分のよさを発揮しよう」と掲げ生徒、職員が活動や振り返りを意識して取り組んでおり、掲げた目標が定着していると感じる。 ※生徒一人ひとりの主体性を育成するためには、従来の支援では不十分であり教職員全員が生徒への助言や指導、支援する方法を研修していく必要がある。	○どの学年も肯定評価の高さが伺える。特に1年生において、「プロジェクト活動で行事がよくなっているか」の肯定評価が高い。中学校では小学校と比べ、生徒がより主体的な活動を行っているということが意識できたといえる。1年生は先輩の姿を見て、来年は自分たちがやってみたいと感じたのではないかと。生徒間同士で、主体的に行事を行い、達成感を感じることは自己肯定感の向上につながり、個の成長を促すと考えられる。来年度も継続して支援や指導を行ってほしい。
体育	しなやかな心をもち、心身を鍛え合い、困難に挑戦する子供【90%】	◎保健体育の授業や部活や社会体育、クラブチーム等に参加したり、個人でトレーニングをしたりして自分の心身を鍛えていると答える生徒(R3:89.0%→R4:79.0%→ R5:74%) ○レジリエンスの教育を通して、心身ともに健康的な生徒が増えたと考える教師 (R3:85.0%→R4:84.2%→ R5:71%)	C	○評価数値の低下は運動部への加入率の低下や部活動時間の減少などが考えられる。保健体育の授業でもニュースポーツを取り入れ、懸念される運動離れへ改善を行なっている。 ※生徒のレジリエンス力を教育活動全体で育成できるための手立てを計画的に行なって良く必要がある。また、レジリエンス講座の時期を行事前や連休後に設定し、生徒自身が自己のヘルスケアを意識できるような活動も取り入れていきたい。	○部活動の時間や地域での活動が減っているため、昔のように体を鍛えることだけでなく、強い心が育つという考え方にはならない。体育＝運動だけでなく、健やかな心と体を育成するために、子どもそれぞれが得意なことを伸ばせるようにするのをもつかもしれない。評価項目もその目的に合うように、来年度変えていったらどうか。
生命	平和を愛し、かけがえのない命を大切に、精一杯生きられる子供【100%】	◎「命」を大切にしながら、周りの人や様々なもの、諸活動に自らかかわっていると思うと答えた生徒。(R3:90.0%→R4:85.0%→ R5:90%) ◎自分にはよいところがあると答える生徒(R3:71.8%→R4:68.3%→ R5:74%) ○平和教育、保健指導、安全教育、人権教育等の指導を通して、命を尊重する生徒が増えたと考える教師 (R3:92.5%→R4:84.2%→ R5:84%)	A	○プロジェクト活動を行ったことで、周りの人と協力して成し遂げた達成感が高まった。そのことが自己肯定感と共に他者を大切にすることにもつながっているのではないかと。また、キャリアパスポートの内容を自己の長所、短所を可視化できるように工夫したことで、自らの良さを見つけるきっかけになったと思われる。また、委員会や下校の様子を撮影し、客観的に考える時間を設けたり、人権集会前に全校アンケートをとり自分事として捉えられるよう工夫した。 ※今後も全教職員で認め励ますことを大事にしながら、指導する場面と諭す場面を使い分けたり生徒自身が、自らを成長させる機会を作っていくたい。	○合唱コンクールを見学させていただいた際、男女関係なく伴奏者や指揮者と協力して歌声を作り上げていた。行事を通してお互いのことを思いやる気持ちや長所を伸ばせるきっかけを大切にしたい。 ○生徒が安心して様子から先生方が生徒に寄り添った指導をしていることが伝わってきた。 ○掲示物から人権について、生徒が調べてある様子が伺えた。とても良い活動だと思っ反面、取り扱い方に難しさを感じるものもある。教師が正しい知識を伝えながら生徒に考えさせられるようにしていくとよい。
地域	郷土に学び、自ら考え、地域社会によりよいかかわる子供【75%】	◎地域の歴史や自然に関心があると答える生徒 (R3:54.7%→R4:50.0%→ R5:49%) ◎機会があれば、チャレンジ活動に参加したいと答える生徒 (R3:59.0%→R4:55.0%→ R5:64%) ○生徒は、地域の人たちと学校や地域で関わっていると考える教師 (R3:55.0%→R4:73.7%→ R5:73%)	B	○今年度はボランティアの参加件数も増え、祭典等のボランティアを始め多くの生徒が参加した。会場等で多くの方に中学生の活躍を賞与していただき、続けていきたいと考えている生徒の値が上昇したと考えられる。 ※地域の歴史や自然について生徒が関心を高めたり、地域の魅力をより知る学習や活動について検討する必要がある。また、そのためにも地域の方とも連携が必要である。	○コロナ禍により、2、3年間ボランティアの募集がなく、現在の中3や中2は、学年のたてのつながりが切れてしまった学年である。そのため、ボランティアの内容や達成感が伝わっておらず昨年度までは参加が少なかった。今年は徐々に参加する人数も多くなってきたので、今年ボランティアを経験した生徒たちの感想や良さを伝えながら継続して欲しい。地域でも積極的に呼びかけをおこなっていくと考えている。

学校関係者評価を受けてのまとめ

・知育や徳育に関して、城山中学校が考える生徒に身に付けたい力は、時代や社会で求められる資質・能力と合致しており、生徒にも力が付いてきているのではないかと評価を受けた。一方、ICTの活用については、そのよさと利便性だけにとらわれず、生徒のどのような力をさらに伸ばしていくかという視点をもって研修を深めていく必要があると指摘をうけた。各教科において、あらためて考えていく必要がある。

・生徒のレジリエンス力を向上するためには、特別な行事や取組だけでなく、日常的な声掛けや学習支援が重要であると考え。その生徒が所属している集団内に支持的な雰囲気があることが大切であることを全教職員で共通理解し、そのための方策を生徒指導主事や仲間づくり部を中心として、引き続き取り組んでいきたい。

・地域への関心を高めるためには、まず地域行事に参加し、地域を知りふるさとの思いを育むきっかけにつながっていくと考える。教師からだけでなく、ボランティアや行事に参加した生徒が他の生徒に良さを伝えていき、生徒自身から参加意欲が高まるような取組を計画し実践する予定である。